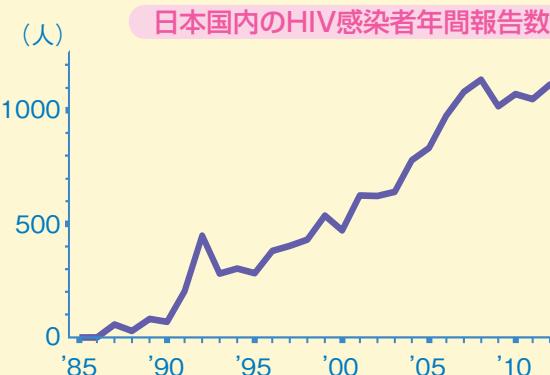


日本のHIV感染の動向

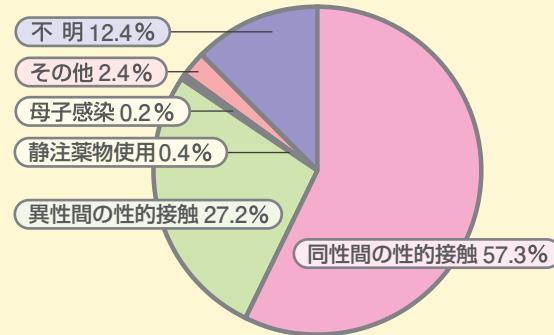
- 日本の感染者数は諸外国に比べて、まだ、きわめて少数ですが、先進国の中では唯一、増加傾向にあります。



厚生労働省エイズ動向委員会：平成26年エイズ発生動向年報による

- HIVの感染経路は8割以上が性的接触です。女性の感染は若い人に多い傾向にあります。

HIVの感染経路 (2014年までの累計)



厚生労働省エイズ動向委員会：平成26年エイズ発生動向年報による

安心のサポート体制

HIV感染者の社会生活全般を支援するために、医療・福祉・保健分野でさまざまなサービスが用意されています。たとえば、福祉制度を利用すれば、医療費の負担を軽くすることができます。申請方法など詳しいことは、市区町村の担当窓口や病院のソーシャルワーカーなどが相談にのってくれます。カウンセラーを派遣してくれる自治体もあります。

このほかにも、ボランティア団体・感染者の交流会などが、悩みごとの相談や情報交換の場を提供しています。

HIVについて知りたいときには

- ・エイズ予防情報ネット(API-Net)：
<http://api-net.jfap.or.jp/>
- ・「HIV感染妊娠と母子感染予防」研究班ホームページ：
<http://hivboshi.org/>
- ・HIV検査相談マップ：<http://www.hivkensa.com>
- ・エイズ予防財団電話相談：(フリーダイヤル) 0120-177-812
(携帯電話から) 03-5259-1815

■このリーフレットはインターネットからもダウンロードできます。

- ・エイズ予防情報ネット(API-Net) ⇒ マニュアル・ガイドライン ⇒
- ・「HIV感染妊娠と母子感染予防」研究班ホームページ ⇒
マニュアル・リーフレット ⇒
- 「あなた自身の健康と赤ちゃんの健やかな誕生のために」



ご妊娠おめでとうございます

あなた自身の健康と
赤ちゃんの
健やかな誕生のためにー

当院では

妊娠初期検査の一環として
HIV検査を実施しています



編集／発行

平成27年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業（エイズ対策政策研究事業）「HIV感染妊娠に関する全国疫学調査と診療ガイドラインの策定ならびに診療体制の確立」班（研究代表者：奈良県総合医療センター・喜多恒和 分担研究「HIV感染妊娠に関する国民への啓発と教育」班（研究分担者：国立成育医療研究センター・塚原優己）

問い合わせ先

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1

国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター産科

塚原優己

2016.1.4000

どうして妊婦さんのHIV検査が重要なのか

エイズの原因となるHIV(ヒト免疫不全ウイルス)は、検査をしないと感染しているかどうかがわかりません。

感染している妊婦さんが

- 感染に気づかないと…
- お母さんが治療を受ける機会が失われる
- 赤ちゃんも感染する可能性が高い
(感染率=約30%)

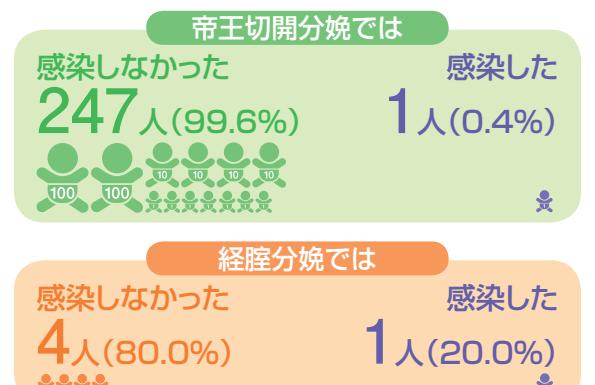
妊娠初期に感染がわかると…

- お母さんが適切な治療を受けられる
- 赤ちゃんの感染をほぼ100%防ぐことができる
(感染率=約0.4%)

母子感染の予防方法

- 1 妊娠中から抗ウイルス薬の服用を開始する
(赤ちゃんも生後~6週間、服用する)
- 2 分娩は帝王切開にする
- 3 赤ちゃんは粉ミルクで育てる
(母乳からの感染を防ぐため)

出産方法による母子感染率の違い(2000年以後)



平成26年度厚生労働省研究班報告による

妊婦HIV検査の手順

一次検査 (スクリーニング検査)

採血して、血液中のウイルスやHIV抗体の有無を調べます。

陰性

HIVには感染していないません。

陽性

HIVに感染している可能性はほとんどありませんが、ごくまれにHIVに感染している人もいますので、二次検査を受けてください。

一次検査の陽性は「感染している」という意味ではありません。

- 感染しているかいないかは、二次検査で初めてわかります。必ず二次検査を受けてください。
- 二次検査をどこの医療機関で受けるかは、担当の医師とご相談ください。

二次検査 (確認検査)

より精密な検査を行い、感染しているかいないかを判定します。

★検査結果は本人に直接お伝えします。

★検査にかかる費用や結果がわかるまでの日数は、担当の医師にお聞きください。

偽陽性について

★一次検査の「陽性」の約95%は、本当は陰性なのに間違って陽性と出る「偽陽性」です。

★「偽陽性」の割合などの詳しい説明は「妊婦HIV検査(一次検査)で結果が陽性だった方へ」*をご覧ください。

*インターネットで公開しています。

- ・エイズ予防情報ネット(API-Net)
⇒マニュアル・ガイドライン ⇒
- ・「HIV感染妊娠と母子感染予防」研究班ホームページ
⇒マニュアル・リーフレット ⇒

★日本国内でHIVに感染している妊婦さんは1万人に1人です。一次検査は、このわずかな感染を見落とさないように実施しています。その際、感染していない人も一定の割合で陽性となってしまうことをご理解ください。

もし、HIVに感染していたら

- 治療法はめざましい進歩をとげました。現在では、きちんとした治療さえ受けいれば、エイズ発症を予防することができます。
- 日常生活の中でまわりの人に感染することはありません。血液や体液の取り扱いに注意していただくほかは、今までと変わらなく生活することができます。